



地域の大人に見守られ下校する小学生たち

10/14  
地域が見守る登下校  
安全で安心なまちづくり推進

葦山小学校区内で、「登下校みんなを見守る 地域の目」推進キャンペーンを実施しました。市職員や大仁警察署員のほか、校区内の各区役員、PTA、市交通指導員など、総勢約九十名が参加し、一年生の集団下校に付き添うとともに、地域の人たちがや商店などに、子どもたちへの声かけや見守り活動を依頼しました。「登下校」は、一昨年に市内小学生から募集し決定した、安全で安心なまちづくり推進標語。「地域の人たちに見守ってほしい」という子どもたちの思いが伝わってきます。子どもたちが、毎日元気で健やかに暮らせる地域社会の実現のためにも、子どもたちへの声かけや見守りをお願いします。



県や市と調印するさくらの会の村上代表(中央)

10/30  
葦山高架橋の美化を  
アダプトロードプログラム調印

市役所伊豆長岡庁舎で、県と市、市民ボランティア団体「さくらの会(村上代表)」の三者が、「さくらの会アダプトロード(道路の里親)プログラム」の同意書に調印しました。アダプトロードプログラムは、まちの美化につとめる住民活動や団体を、県と市が協力して広くアピールし、みんなが参加しやすくなるためにサポートする制度です。すでに市内でも三団体がこの制度で活動しています。さくらの会は、旧時代から四日町交差点の花壇などの維持管理に協力しており、葦山高架橋の完成後も、引き続き、葦山高架橋周辺の植栽管理及び歩道、路肩の清掃を行っていただきます。

10/26  
住民の安心のために  
生活保護悪用の暴力団排除協定

この日、伊豆の国市、伊豆市と大仁警察署は、生活保護制度を悪用する暴力団を排除するための協定の調印式を行いました。望月市長、菊地伊豆市長、和田大仁警察署長が取り交わしたこの協定は、生活保護申請者が暴力団員かどうかを各市が警察署に問い合わせたとき、暴力団員の生活保護受給が判明した場合に同署が各市に情報提供できるようにするという内容のものです。望月市長は、「協定により、住民の安心度が増すのはよきこばしい」と話し、和田署長は「実効ある協定とするため、両市との連携を密に図っていきたい」と語りました。



協定書を調印し、大仁署長と固い握手をする両市長

10/31  
来て見て体験する福祉  
第五回市民ふれあい広場



さまざまな催しに参加して『福祉』を考えた一日

秋晴れのこの日、葦山福祉・保健センターで、『第五回市民ふれあい広場』を開催しました。会場では、福祉の啓発を目的に、四十四の福祉・ボランティア関係団体がさまざまな催しを実施。福祉機器や福祉絵画などの展示、手話ミニ講座や点字しおりづくりなどの体験コーナー、授産製品やチャリティーグッズの販売、スタンブラリーなどが行われました。またステージではやわら太鼓の演奏、キャラクター出演やもちまきのほか、8020(八十歳まで二十本の歯が残ってる人)の表彰や盲導犬紹介も行われ、来場者全員が福祉について考える一日となりました。

10/26  
環境経営の取り組み  
エコアクション21認証取得



EA 21 地域事務局から登録証を授与

このたび、市役所各庁舎での環境活動がエコアクション21(EA 21)に認証・登録されました。EA 21とは、環境省が策定した指針に基づく環境経営システムです。市では、昨年十月にEA 21の環境方針を定め、実践してきました。その結果、(財)地球環境戦略研究機関から、EA 21ガイドラインに適合するとの審査判定を得ることができ、認証・登録証が発行されました。また温室効果ガスも前年度より大幅に削減されました。今後はさらに取り組み範囲を拡大して、四年後には学校等を含めたすべての施設を範囲として認証登録を受ける計画です。市内の企業でもぜひEA 21の認証を取得し、環境活動に取り組んでください。EA 21の活動は、経費削減、経営改善にもつながります。

10/31  
~11/1  
共に遺産を後世へ  
近代化産業遺産群サミット

このたび、葦山反射炉と同じテーマの近代化産業遺産等を持つ全国十自治体の首長らが、伊豆の国市で初めて一堂に会しました。一行は、三十一日に葦山反射炉や江川邸を視察し、翌日には江川邸書院でのサミット会議や、葦山時代劇場でのシンポジウムに参加しました。各首長らは、それぞれの遺産の特徴や遺産の活用事例などを発表し、最後には、「サミット宣言」として、今後は各自治体が連携して貴重な遺産群を後世に伝えていこうと誓いました。なお、近代化産業遺産群サミットの内容については、広報一月号で詳しくレポートする予定です。



江川邸書院で開かれた近代化産業遺産群サミット会議

10/30  
特別職給料の引き下げを  
特別職報酬等審議会が答申

伊豆の国市特別職報酬等審議会(土屋實会長)は、市長や市議など特別職の給料・報酬について、「それぞれ月額一万円引き下げが適当」とあると市長に答申しました。これは、市誕生から二期目を迎え、改めて特別職の給料・報酬が適正かを判断してもらったため、市長が審議会を設置・諮問したことによるものです。審議会では市長らの給料について、「現在の経済情勢等を考慮すると減額もやむを得ない」とし、また、議員報酬も「近隣市町の状況や諸情勢から判断し、引き下げが妥当」という結論に達しました。市は、特別職(市長・副市長・教育長)の給料について、十二月議会に条例改正案を上げます。議員報酬については市議会で検討されます。



市長に答申する審議会土屋会長(写真左)

11/8  
園児と消防車  
カクラベ  
消防フェスタ2009



会場が盛り上がった消防ポンプ車と園児の綱引き

葦山時代劇場ふれあい広場で、『消防フェスタ2009』を開催しました。消防フェスタは楽しみながら体験することで消防・防災活動に対する意識の高揚を図り、将来の団員を確保するために消防団が毎年行っているイベント。例年は旧スポーツワールド駐車場で行っていましたが、今年は国民文化祭と連動し、葦山時代劇場での開催となりました。会場では、市内幼稚園、保育園児の遊戯や三島高校チャダランスなどのステージイベント、ポンプ車記念撮影や消火器放水、煙ハウスなどの体験コーナー、スタンブラリーなどが人気を集め、アトラクションとして行われた、園児たちと消防ポンプ車の綱引きも盛り上がりしました。